

# 地域に根差して心と心の商売を 共に創る豊かな未来へ

(株)九州住建

地域密着型の企業として福岡県糸島市に本社を構え、太陽光発電の販売・施工や建築リフォーム、防水・塗装工事などを行っている(株)九州住建。多様に拡大する市場と増え続ける企業のなかで、地域とともに生きる同社の今後の展望とは――。



代表取締役 笠俊治氏

## 急成長し 拡大する市場のなかで

現在、太陽光発電は環境ビジネスのなかでも大きな広がりを見せており、急成長した分野の1つとなっている。メーカーの増産体制や新規参入とともに他業種からの販社としての参入も多く、熾烈な競争が繰り広げられているが、そのようななか、福岡県糸島市にて地域密着型企业として太陽光発電パネルの販売・施工を主に手がけているのが(株)九州住建である。

同社はずっと防水工事で技術を磨いてきた代表の笠俊治氏が、独立開業したのが始まり。創業当時は主に建物の防水工事を手がけていたが、すでに成熟していた市場のなかで、目を見張るような成果は上げられない状態が続いていた。そこで次の一手として取り扱いを始めたのが、太陽光発電パネルの販売・施工だった。

「ただし、当時は今のように後押しをしてくれるような政策もなく、当初は厳しい状況が続いていました。それでも、太陽光発電はお客さまから

の要望が高まる商材だという確信が持っていましたから、取り組み続けてまいりました」と笠社長は当時を振り返る。

今でこそ、再生可能エネルギーの全量買取制度や設置補助金の制度などがあり、業界全体には追い風が吹いている状態と言える。しかし、当時からそれを見越し、将来的に必要な技術になるという確信が笠社長にはあった。加えて、お客さまを第一に考え、満足を得ていただけるものを提供し続けていければ、結果は後から付いてくる――という信念を持っていた。

「良い環境商材というものは、普及のスピードが速く、需要に対する必要量も多大なものとなります。政策や制度という後押しを活用しながら、皆が良い物を扱う状態をつくることができれば、お客さまとのメリットを共有できる機会も多くなるでしょう」(笠社長)。

ただし、拡大する市場のなかでは、誤った情報・説明による営業手法を採る業者も現れており、悪質業者の排除が求められている。なかに

は、詐欺まがいの営業を行なうところもあるといい、売りっぱなしでアフターフォローなどはお構いなしの業者もいるという。

「太陽光発電はそれ自体が高い商品力を有しているため、そのような営業手法であっても一定の実績を上げることはできるでしょう。しかし、そういったやり方ではお客さまの立場に立った提案はできませんし、何より、長期的な運用になる太陽光発電のアフターサポートを行なっていくことはできません。高い付加価値を持つ商品だからこそ、お客さまの目線で提案を行ない、理解していただきたいうえで導入していただきたいと考えています。売ってしまえばそれで終わりではなく、そこからお客さまとの関係性の始まりだという認識が必要です」と笠社長は言う。

さらに同社は太陽光発電だけでなく、もっと広い範囲での環境商材へも関心を示している。そのため、数多くある環境商材のなかで、何がお客さまにとって将来的に必要なかを見極めていくところだという。



## 社員との絆が 大きな強みに

笠社長の座右の銘は、『自分の幸せを望むのであれば、まず先に人の幸せを願うことが大切である』というもの。そんな笠社長にとっての事業とは、何よりも人の幸せをつくるものだという。

「私や会社を支えてくれている社員の幸せを第一に願うようにしています。そのためには、社員を支えてくれる、社員の家族が幸せになってくればならなりません。したがって、社員の家族の幸せも願うようになります。その家族は地域に暮らしていますから、地域が幸せになる必要があります。そういった幸せの循環を生み出す歯車の1つになれば嬉しいです」(笠社長)。

社員1人ひとりが幸せな環境で仕事ができるようになること、そしてそれによって家族、地域が幸せになること——これが同社の考え方の根本にある。そのため、同社では何よりも社員がイキイキと仕事ができる環境づくりに力を入れている。たとえば同社では、単に工事部門は工事を、営業部門は営業を、

経理は経理をというような考え方ではなく、その部門の垣根を越えて話し合い、提案し合うことが社風となっている。そして、たとえ若手であっても、良いアイデアであれば採用されるという。

「自分の意見が通る会社で働くということは、言われたことをただこなすよりもイキイキと仕事ができるのではないのでしょうか」と笠社長。こういった考え方は全社員に浸透しており、それが何にも変え難い同社の強みとなっている。

## 地域に根差して 幸せの連鎖を生む

同社は、営業エリアの拠点を本社のある糸島市としている。これは、何かあれば即座にお客さまが駆け込んでくることのできる距離だ。また同時に、悪評が広がれば誰も相手にしてくれなくなるエリアでもあるため、自らにリスクを課していることにもなる。このように同社は、“逃げない”姿勢を見せることで信頼獲得に努めているのだ。同社は、かつて街角で見かけたタバコ屋のように、地域との同化にこそ社の存続をかけた。

「私たちは、狭いエリアで顔と顔を突き合わせて商売をさせていただいております。自宅も糸島市にありますし、私や社員がおかしなことをしようものなら、仕事はおろか、住むことすらままならなくなります。正直に、そして真面目に仕事を積み重ねていくことでしか、我が社は存続し得ません。地元にご協力、地元へ根差した商売をしていくことこそが、私の理念に則しています。このスタイルは、これからも変えるつもりはありません」(笠社長)。

笠社長は、地域の役員を7年間務めるほか、社会貢献活動にも積極的に参加している。そういった地域とのつながりのなかから絆が生まれ、幸せの連鎖が実現できると信じているのだ。そんな笠社長が率いる同社は、太陽光パネルの施工・販売を通じて、より多くの人の幸せをつくっていくことを生業としているようだ。

「人の幸せを心から願えば、自分も幸せになれます。そして、お金は必ず後から付いてきます。信念を曲げずに、心と心の商売を続けていきたいと思います」と笠社長は笑顔で語る。

地域とのつながりが希薄になっている現代社会のなかで、人と人、心と心の通う商売を目指す同社。今の時代こそ、この姿勢からいろいろと学ぶべき点は多いように思われる。

(坂田 憲治)



気軽に足を運べる、明るいショールーム

## COMPANY INFORMATION

代表：笠 俊治  
所在地：福岡県糸島市前原東1-6-3  
設立：2002年5月  
資本金：1,000万円  
TEL：092-332-1231  
URL：<http://www.q-j-k.co.jp/>